

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		スーパー（店長）	・台風や地震の影響で、高騰している野菜の値段が2、3か月後には安くなり、消費も活発になる。	
		スーパー（店長）	・暖冬で、冬物商品は今一つの売上だが、その他の商品はよく売れている。12月に入れば、冬物商品もその他の商品も両方売れて、景気は徐々に良くなっていく。	
		通信会社（営業担当）	・新商品の販売開始、新たな店舗展開、イベントの実施等により、市場の活性化が図られ、販売数の増加が期待できる。	
	変わらない	設計事務所（所長）	・リフォーム物件が多数出てきている。	
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・来店客も購買意欲が少なく、まとめ買いではなく、目的買いが多い。年末にかけて、衝動買いをする客がますます減っていくのではないかと心配している。	
		一般小売店〔菓子〕（販売担当）	・一向に客数の減少が止まりそうにない。	
		百貨店（総務担当）	・一部に景気の回復する兆しがみえるものの、客数も客単価も伸びていない。台風による水害の影響もまだ尾を引いており、大きくは変わらない。	
		百貨店（営業担当）	・必要な物以外は買わないとする現在の購買姿勢は、まだまだ続きそうである。	
		スーパー（店長）	・野菜の価格が低下し始めているので、今後、鍋物の材料として、野菜が動くようになり、肉、魚等も売れ出してくる。しかし昨年を上回るほどではなく、基本的には現状と変わるとは思えない。	
		スーパー（企画担当）	・特販企画などを行っても、効き目が薄くなってきている。	
		コンビニ（店長）	・酒類免許の緩和により、客が分散し、販売量が減少している。高価格のワインや年末用ギフト、年始用品の予約の動きがなく、客単価が伸びていない。	
		衣料品専門店（経営者）	・相変わらず来客数が少なく、特に土日、祝日が少ない。単品買いの客が多く、客単価も上昇していない。特に目立った売筋アイテムもなく、現況からの大きな好転は期待できない。	
		衣料品専門店（経営者）	・12月はボーナスシーズンで1年で最も実需が多い月であるが、台風被害の影響が残り、前年を上回る売上は見込めない。	
		家電量販店（店長）	・薄型テレビ、DVDレコーダーなどAV商品は今後も期待できるが、パソコンは急激な単価ダウンで厳しさが増す。	
		家電量販店（営業担当）	・気温が高めに推移していることから、季節商品に期待ができず、映像関係に頼らざるを得ない状況からの脱却は難しい。	
		乗用車販売店（営業担当）	・今月、新型車を発表し、12月もモデルチェンジ車が投入されるので、春の需要期までは現在の堅調さを持続できると考えている。	
		旅行代理店（従業員） その他住宅〔不動産〕（経営者）	・今年の年末年始は暦の並びが悪く、期待できない。 ・土地の値下がりはまだまだ続いており、しばらく景気が良くなるとは考えられない。	
		やや悪くなる	スーパー（副店長）	・競合店との競争が激化する。
			設計事務所（職員）	・ここ数か月は、台風被害等による特別な需要があったが、2、3か月先となると、この特需がはがれ、冷え込んだ状態に戻ると考えられる。
悪くなる	一般小売店〔乾物〕（店員）		・地震やいろいろな災害、誘拐事件などにより、マインドがかなり悪化している。これからも増税など、支出を抑える政策が目白押しであり、非常に心配している。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		一般機械器具製造業（経理担当）	・台風や新潟中越地震の復旧対応に、若干の受注が期待できる。また大阪地区では、平成17年の排出ガス規制に対応するため、体力のあるユーザーに買換えの動きがみられる。	
変わらない	繊維工業（経営者）	・一部では、高額商品が売れるというプラス材料があるが、消費者の購買意欲は依然として慎重である。特に、一般のギフト関係の需要が落ち込んでおり、全体的には手放して景気が良くなっていくとは思えない。		

		<p>広告代理店（経営者）</p> <p>公認会計士</p>	<p>・台風被害の影響もあり、得意先はマインドが低下し、広告予算は積極展開が少なく、明るさがみえない。</p> <p>・各企業の最近の試算表の数値、顧問料等の回収状況などをみると、資金繰りが改善されているとは思えない。こうした取引先の状況から判断すると、景気は現状と変わらない。</p>
	やや悪くなる	<p>パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）</p> <p>化学工業（営業所長）</p> <p>一般機械器具製造業（経理担当）</p> <p>電気機械器具製造業（経営者）</p> <p>輸送業（支店長）</p>	<p>・新商品の売上は上昇するが、トイレットペーパーは、価格、数量とも落ちる見込みである。</p> <p>・石油関連製品の原材料の上昇が続き、相変わらずエンドユーザーの買い控えもあることから、新たな展開が全く出てこない状況である。</p> <p>・災害復旧工事の一段落や、原材料の値上げの影響により、需要の減退が懸念される。</p> <p>・アメリカの景気減速や円高による材料費高騰の影響から、生産、経営面とも厳しさが増してくる。</p> <p>・原材料及び燃料費が高騰している中、沈静化していた料金の見直し、値下げ等の案件が出てきている。</p>
	悪くなる	<p>木材木製品製造業（経営者）</p> <p>金融業（融資担当）</p>	<p>・住宅借入金等特別控除の縮小と、販売店の年度末に向けての在庫調整の影響から、生産量は低下していく。</p> <p>・県の主要産業である建設土木業は、公共投資のますますの削減によって、状況は一層悪くなる。</p>
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	<p>人材派遣会社（支店長）</p> <p>人材派遣会社（支店長）</p> <p>求人情報誌製作会社（編集者）</p>	<p>・サービス業を始め、各業種で派遣需要はこれからも増えていく。</p> <p>・例年の同じ時期に比べて、求人数が増えてきつつある。</p> <p>・新卒の需要に加えて、年度末にかけての即戦力採用の需要もやや増えてくる。</p>
	変わらない	職業安定所（職員）	<p>・新規求職者数は前年に比べ、2か月連続して減少した。しかし、長期間求職活動を行っている人の中には、請負求人、臨時契約社員求人の増加とあいまって、正社員としての就労希望条件の修正を余儀なくされたものが多く見受けられる。</p>
		職業安定所（職員）	<p>・求人倍率は多少増加しているが、求人賃金は上昇していない。</p>
	学校 [大学]（就職担当）	<p>・採用動向は、ここ数か月間、横一直線の状況が継続している。</p>	
やや悪くなる			
悪くなる			